

【WIPO】2024年、世界の特許出願件数が過去最高を記録

世界知的所有権機関（WIPO）は、年次報告書「世界知的財産指標（World Intellectual Property Indicators 2025）」を公開し、2024年の世界の特許出願件数は、対前年比4.9%増の約370万件となり、5年連続で成長を記録したと公表しました。

特許庁別受理件数の第1～5位は、中国（CNIPA：1,800,000件、対前年比約9.0%増）、米国（USPTO：501,831件、対前年比約3.2%減）、日本（JPO：419,132件、対前年比約1.1%増）、韓国（KIPO：295,722件、対前年比約2.7%増）、ドイツ（DPMA：133,485件、対前年比約0.3%増）でした。

また、6位のインドは対前年比約19.1%増となり、6年連続で2桁成長を達成しました。

地域別では、全世界の特許出願件数に占めるアジアの割合は70.1%となり、ここ10年間で約10.1%シェアが拡大しました。北米は17.1%、欧州は9.7%でした。

2023年に公開された特許出願を技術分野別に見てみますと、上位5位は、コンピュータ技術（13.2%）、電気機械（7.2%）、計測（6.2%）、デジタル通信（5.8%）、医療技術（4.9%）でした。このうち、コンピュータ技術分野の特許出願件数は過去10年間で10.3%増加となり2桁の伸びを示した唯一の分野となりました。

世界知的財産指標の全文はWIPOの以下URLから入手できます。

<https://www.wipo.int/publications/en/details.jsp?id=4822>